

平成30年度 第43回関東中学校軟式野球大会

入間市立向原中学校(埼玉) 対 江戸川区立上一色中学校(東京)

上一色中が好投・猛打でコールド勝ち!



富士北麓公園野球場	1 回戦	第 2 試合	開始時刻	11:20	終了時刻	12:40	試合時間	76分					
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	特1	特2	特3	計
入間市立向原中学校(埼玉)	0	0	0	0	0	0							0
江戸川区立上一色中学校(東京)	1	0	1	4	0	1×							7

【審判】 球審: 小林 健二 一塁: 山田 淳宏 二塁: 近藤 洋介 三塁: 中澤 裕希
 【投手-捕手】 入間市立向原中学校(埼玉) 投手-捕手: 松田-浅川 江戸川区立上一色中学校(東京) 投手-捕手: 深沢-富田
 【長打】 二塁打: 石神(上一色) 三塁打: 本塁打:

〈試合経過〉向原中は1回表、3連続内野安打で無死満塁の絶好の好機を作るも後続が打ち取られ、無得点に抑えられる。その裏、上一色中は先頭の1番石神が死球で出塁のあと、すかさず盗塁を決め、その後二死1、3塁とし敵失の間に1点を先制する。3回裏の上一色中は、先頭の1番石神が安打で出塁。すかさず盗塁敵失で無死3塁とし、内野ゴロの間に1点を追加する。上一色中は4回、先頭の6番館野が内野安打で出塁すると、無死2塁から7番安達がセンター前タイムリーヒットを打ち1点を加える。さらにこの回、機動力で好機を広げ、安打を重ねて一挙4点を追加する。向原中は5回の表、先頭の7番金子が出塁し、敵失で無死2塁の好機を作るも後続が打ち取られ無得点に抑えられる。上一色中の堅い守りの前になかなか得点を奪えない苦しい展開が続いた。5回、向原中は、相手先頭の6番館野を内野安打で出塁させるなどピンチを招くも粘り強く守り、この回を無得点に抑える。6回の上一色中は、先頭の1番石神がレフトへ2塁打を打ち、犠打で一死3塁、3番岡田がショートへの強襲安打で試合を決めた。機動力と鋭い打撃、堅い守りで上一色中が試合を制した。(敬称略)

打順	守備	選手	打席	打数	安打	打点	三振	四死球	犠打	盗塁
1	3	金 愛斗	3	3	2	0	0	0	0	0
2	6	松岡 航瑠	3	3	1	0	0	0	0	0
3	1	松田 陸	3	3	1	0	0	0	0	0
4	7	諸我 拓海	3	3	0	0	0	0	0	0
5	2	浅川 巧輝	2	2	0	0	0	0	0	0
6	8	田崎 皆成	2	1	0	0	0	1	0	0
7	9	金子 俊太郎	2	2	0	0	0	0	0	0
8	4	横田 羽琉空	2	2	0	0	1	0	0	0
8	4	伯 勇貴斗	0	0	0	0	0	0	0	0
9	5	前田 大斗	2	2	0	0	0	0	0	0
計			22	21	4	0	1	1	0	0

投手	回数	アウト	打者	球数	被安打	奪三振	四死球	失点
松田 陸	5 1/3	15	27	75	10	1	2	6

打順	守備	選手	打席	打数	安打	打点	三振	四死球	犠打	盗塁
1	5	石神 遙樹	4	3	2	0	0	1	0	0
2	1	深沢 鳳介	4	3	2	2	0	1	0	0
3	8	岡田 翔馬	3	3	1	0	0	0	0	0
4	6	荻部 力翔	3	3	2	1	0	0	0	1
5	2	富田 倅丞	3	3	0	0	0	0	0	0
6	9	館野 智靖	3	3	2	0	0	0	0	0
7	4	安達 健太	3	3	1	1	0	0	0	3
8	3	山口 志温	3	3	1	0	0	0	0	0
9	7	渡辺 陽太	3	3	1	0	1	0	0	1
計			29	27	12	4	1	2	0	5

投手	回数	アウト	打者	球数	被安打	奪三振	四死球	失点
深沢 鳳介	6	18	22	67	4	1	1	0



チームコメント

上一色中 西尾監督
選手には、最後の大会なので、楽しんでいこうと激励した。コンパクトに打ち、つなげる意識が強かった。今年のチームらしい勝ち方ができたと思う。初回のピンチをしのぎ、勝利するまで全力でプレーできた。

上一色中 石神主将
初戦の緊張の中で、今まで練習してきたバッティングの成果が出せた。次につながる内容だった。明日もチームバッティングをして全国を決めたい。

向原中 落合監督
相手との力の差を感じた。自分たちの野球をすることができなかった。初回のチャンスで点を取れば、流れを引き寄せられたのではないかと考えた。

